

～ 今月の図書案内 ～

新年あけましておめでとうございます！
 年末年始は楽しく過ごせましたか？ 冬休み中、図書館に新しい本がたくさん納品されましたので、ぜひ活用してください。

★今月の新着おすすめ本



「オリンピックを殺す日」 堂場 瞬一

新聞記者の菅谷は新たなスポーツ大会「ザ・ゲーム」が開催する情報を耳にし、大会を調べ始める。調べるうちにメディアを排除したアスリート・ファーストの大会だとわかるが…。元新聞記者の著者だからこそ書ける、スポーツや報道のあり方を問う力作です。

「化石の復元、承ります。」 木村 由莉【監修】

誰も見たことがない太古の大型獣の復元に挑む職人たちの現場に密着した一冊。多くの写真と共に解説しているので、復元師たちがどのように骨格レプリカや生態復元模型を製作し、デジタル復元し、展示づくりをしているのかを垣間見ることができる。気の遠くなるような作業、職人技に脱帽。



「漢字が日本語になるまで」 円満字 二郎

漢字は、中国語を書き表すため発明された文字。日本に伝わったのは1600～1700年前。昔の日本人は漢字にさまざまな手を加えて、日本語として成長させてきました。例えば音読みと訓読み。日本人にとって不便な文字をどう使いこなしてきたか、その歴史は奥深い。

「人生はそれでも続く」

読売新聞社会部「あれから」取材班

「王子様から肇」へ改名した18歳、甲子園で松井秀喜を5敬遠し罵声を浴びた17歳…、ニュースとなった22人各々のその後の人生をたどっている。関係者等にも取材しているので、その人となりの真実もわかってくる。渦中にいた人ならではの言葉に重みがあります。



月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

開館時間 8:35～16:45 (色つきの日は閉館日 予定は変更することもあります)

★図書館からのおすすめ本



「スキを突く経営 面白家電のサンコーはなぜウケるのか」 山光 博康

「ネッククーラー」「超高速エッグスチーマー」など個性的な家電を多数発売している会社であるサンコーの社長が、創業や失敗などのエピソードを語っています。奇抜なアイデア商品が生み出せる理由がよくわかるので、将来仕事をする際の参考にもなると思います。

「あの子とQ」 万城目 学

見た目は普通の高校生だが、実は吸血鬼である弓子の試練と冒険の物語。弓子は人間社会に溶け込み楽しい高校生活を送っていたが、ある朝突然「Q」というトゲトゲのバケモノが出現。17歳の誕生日までの10日間、監視に来たのだが…。Qの秘密、大騒動の結末は!?



「ガウディの伝言」 外尾 悦郎

スペイン・バルセロナのサグラダ・ファミリア。彫刻家の著者が15体目の天使像を完成させ、「生誕の門」は2005年世界文化遺産に登録された。石を刻みながら、ガウディが私たちに光・色・音等を通して伝えたかったことを読みとろうとする。彼の「伝言」を探してみませんか。

「海蝶 海を護るミュージズ」 吉川 英梨

海上保安庁初の女性潜水士(通称:海蝶)となった愛は、八丈島沖で沈没した小型船舶の調査に向かう。そこで奇妙な違和感と切断されたエンジンの冷却ホースを見つけた。過去の事故が交錯した事件の始まりだった。広大な海での救出の困難さと時間との闘いは、胸に迫ってきます。

